

家保通信

Vol. 40 No. 6 9月号
東京都家畜保健衛生所



令和8年8月25日

かほクイズ

人間も鳥インフルエンザウイルスに感染するでしょうか。

- ①感染する
- ②感染しない



大雨・台風の後には飼養衛生管理の確認をしましょう

大雨や台風の後には、農場への泥や汚水の流入、畜舎破損部位からの野生動物の侵入などにより、外部から病原体が持ち込まれる可能性があります。まずは自らの安全確保を優先することが大切ですが、安全確保ができた後は農場の状況を確認しましょう。

大雨・台風後のチェックポイント

✓ 農場内の清掃・消毒



敷地内に流れ込んだ泥やごみはできる限り早く除去し、必要に応じて消毒を行いましょう。

✓ 野鳥や野生動物が侵入できる破損箇所や隙間がないか



畜舎、フェンス、防鳥ネットが壊れていないか確認し、破損箇所は早めに修繕しましょう。

✓ 飼料や飲水に汚染がないか



飼料や飲水が雨水や泥で汚染されていないか確認しましょう。異常がある場合は使用を控えてください。

✓ 消毒設備が正常に使用できるか



✓ 家畜に食欲低下、産卵率・乳量低下などの異状がないか

大雨や台風後の早めの点検と修繕は、家畜伝染病の発生防止につながります。農場内の防疫対策を再確認し、**家畜に異状を認めた場合は速やかに当所までご連絡ください。**



所内で高病原性鳥インフルエンザ防疫演習を実施しました

高病原性鳥インフルエンザ（以下、HPAI）の発生に備え、8月6日に所内防疫演習を実施しました。今回の演習では、発生農場での初動対応や防疫措置の手順等を確認しました。また、**リモートツールを導入**し、家保内部と迅速な連携を取れるようにすることで、防疫体制の強化を図りました。当所では、万が一HPAIが発生した場合に被害を最小限に抑えられるよう、防疫体制の強化に取り組み、家畜伝染病のまん延防止に努めてまいります。



↑簡易検査キットを使用して検査をしている様子



野生動物対策を見直しましょう！

野鳥やネズミなどの野生動物は、鳥インフルエンザや豚熱などの病原体を運ぶ可能性があります。実際にセンサーカメラで観察すると農場周辺を往来するキツネや、換気口から出入りするネズミが確認されています。**野生動物は小さな隙間から侵入し、知らないうちに病原体を農場内へ持ち込むおそれがあります。**定期的に農場内を点検し、侵入を防止しましょう。



換気口から出入りするネズミ



農場周辺を徘徊するキツネ

⚠ 農場内をチェック ⚠

- ✓ 壁・天井・防鳥ネットに破れや隙間はないか
- ✓ 換気口や配管周辺に侵入口となる隙間はないか
- ✓ ネズミの糞やかじり跡はないか
- ✓ 残飼を放置していないか
- ✓ 農場周辺に野生動物が隠れやすい茂みや資材はないか



サルモネラ検査及び抗菌性薬剤残留検査の結果

6月から8月までの期間に実施したサルモネラ検査、抗菌性薬剤残留検査の結果についてお知らせします。**鶏卵からはサルモネラ及び抗菌性薬剤は検出されませんでした。**結果の詳細については、個別にお送りしていますのでご確認ください。

検査名	検査対象	検査戸数	検出戸数 (検出率)
サルモネラ検査	鶏舎内塵埃	32	6 (18.8%)
	鶏卵内容	30	0
抗菌性薬剤残留調査	鶏卵内容	30	0



クイズの答え：①感染する

鳥インフルエンザは人獣共通感染症です。日本での感染事例はまだ報告されていませんが、東南アジアを中心に世界各地で報告があります。感染した家さんやその排せつ物、死体、臓器などに濃厚に接触することによってまれに感染することがあります。人間だけではなく、乳牛やミンクなどにおいても感染が報告されています。

発行日 令和8年8月25日

編集発行  東京都家畜保健衛生所

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/animal/kaho/>

〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町
大字平井2759

TEL : 042-588-7171

携帯 : 090-6941-4315 (緊急用)

